

2015年7月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第130号

堀田クラブ会長 若者とともに楽しく活動しよう
主 湘南・沖縄部部长 一人ひとりが愛と平和の種をまこう
東日本区理事 原点に立って未来へステップ
題 アジア地域会長 愛を持って奉仕
国際会長 信念のあるミッション

今月の聖句(強調月間:キックオフ)

涙とともに種をまく人は喜びの歌とともに刈り入れる。

詩篇126篇5節

6月15日第18回東日本区大会反省会



石井大会実行委員長の呼びかけで、準備会の常連23人がレンブラントホテルで18時半

から反省会を開催。

劈頭、田中理事からこの日、配信された札幌クラブブリテン6月号の中田元理事の大会報告が紹介されました。

『厚木市文化会館での第18回東日本区大会には予想をはるかに上回る400名を超える参会者が会場を埋め尽くす中、開会式が行われました。

小林常良市長が出席。おざなりでない祝辞を述べられました。オープニングセレモニーの「白龍太鼓」、「ロボット実演」、懇親会前の中学生のブラスバンドの演奏等々、大都会の大会では到底味わう事の出来ない全市を挙げての温かい歓迎をうけました。

特に晩餐会の前の中学生のブラスバンドは素晴らしかったです。終了後全員スタンディング・オベーション。「アンコール」の音が鳴り止みませんでした。

親睦会は予想を上回る参加でした。会場に収まり、

きれず廊下までテーブルがはみだしていました。』

理事の紹介はそこまででしたが、思えば名所や世界遺産がない街でも、熱意と工夫があれば区大会ができるという田中理事の思いがあり、理事の力強い指導のもと、われわれ厚木クラブは石井委員長を中心によくそれに応え、東日本区史上にのこる素晴らしい大会だったと多くの方々から賞賛をいただく大会を成し遂げて、我々には格別な感激があたえられました。

特に大会で注目を浴びるクラブの花、司会者二人、重責に耐えながら、大会迫るなか、練習に励んだ二人への「よかった」との理事の寸評は二人の苦勞を大いなる喜びに変えたと信じます。

石井委員長からは「自分がどこまでやれるか、互いに協力しながら動いたのがよかった、尽力してくださった皆さんに感謝します。」市議会議長の重責の中、本当によくやってくださったと我ら一同感謝の思いで一杯です。

堀田会長「みなさん本番に強いことを初めて知りました。西日本区大会にお礼に行ってきましたが、ずっと厚木の大会の方がよかった。自画自賛ではないと思います。」寡黙な会長のユーモアあふれるご挨拶

例会データ	6月	在籍会員 20人
会 員	12人	メイキャッツブ済み
ビジター	1人	出席率
ゲ ス ト	人	
合 計	13人	95%

例会のご案内	会 長	堀田 哲郎
原則として第4水曜日18時半から2時間	副会長	石井 芳隆
お問い合わせ先	副会長	川口 知幸
Tel 046-223-1441 吉永貴弘	書 記	小林 秀
	書 記	千葉 裕子
	会 計	岩淵 正弘

撈でした。

会場・プログラム担当の重責を担われた北村さんは「司会者へ渡す台本の量が多すぎて、適切に伝えられなかった」と率直に反省。

協力クラブで準備会の常連伊藤幾夫さんは「大会の成功は実行委員長、クラブ会長および理事の助言等によるもの」と指摘された。

同じく協力クラブで準備会の常連佐藤茂美さんは「厚木駅で降りたわたしの知り合いの女性メンバーを、(かねての理事のアドバイスで)道案内係りとして張り付いていた担当の人が親切に道案内してくれたと本人から感謝の思いをきいた」と。

道案内、舞台上の出し入れ、記念撮影などなど快く引き受けていただいたYMCAの職員、生徒さん21人の協力で大会は一段とひきたてられた。その大本小林厚木YMCA館長からは、「大会が近付いた時、生徒たちから大会協力しなくてもよいかと問いかけられたのには驚いた。これからも協力し合ってYMCA,地域のため活動していきましょう」とのアピールがあり、同じテーブルの者たちには2~3の腹案を話された。



秀の独白: 多くの人が大会は良かったという。その中身はなんであったか?

例えばロボットについて言えば、参加者がロボットと体操したり、触れたりして、講演だけでは理解できなかった点まで理解できたこと。晩餐会では他クラブの会員と相互交流ができたこと、東日本区の家族の一員になれたとの自覚を得たことなどで今回の大会は楽しき大きな喜びとなった。

また行政とのタイアップも目には見えなかったかもしれないが大きな力となっていた。大好評だったあゆころ体操の出演者のほとんどは市の職員の方々に趣旨を聞いて賛同しての出演だったし、厚木中学

の演奏も、市が主催者の一員ということで校長先生が承諾くださったと仄聞している。

大会が終わり皆様をお見送りした時、多くの方々から「とても楽しかった」と明るい笑顔で握手を求められた。考えてみるともしその時、雨であったら、あれほど明るい笑顔ではなかったかも。堀田会長が大会ホームページの挨拶文の最後に天まで我らに味方してくれた。梅雨入り前後の雨の多いなか、皆の日ごろの心がけが余ほどよくないと、あんな幸運はなかなか得られないと。私は同感です。みんなの心がけが大会の成功をもたらしたのだと思います。

これからも和やかなクラブライフをみんなでしっかりと築き上げて参りましょう。(小林 秀)

加藤利栄さんからの甘辛評(抜粋)

(全般)

厚木メンバーの一人一人の力を結集でき、特に実行委員長と会長の働きは大きかった。参加者からは、【大】成功でしたね、の反響が相次いでいる。

(個別事項)

前夜祭

テキパキとした司会、進行がよかった。南部さんの演奏、会場の雰囲気象徴しているかのように出色だった。

大会第1日

登録受付おおむね順調だったが、一部配布物に封入漏れがみられた。大会参加者名簿の到着が一足遅れた。大会プログラムに、「白龍太鼓」「ロボットの力」「厚木中学演奏」「ピアノ演奏者」の簡単な紹介文が欲しかった。大好評であっただけに。

野点はメネットの間では好評だった。ペアの総合司会は好評だった。晩餐会場への輸送は、思ったよりスムーズだった。晩餐会での細かい演技、出し物、話は無理だった。

大会第2日

会場がホテルながら、会場内を最大限に活用できてよかった。椅子の並べ替えなど参加者の前でテキパキとやったのは見ていて気持ちよかった。

7月事業予定

7月22日(水)18:30~

第1例会新湘南・沖縄部長公式訪問